



平成 21 年 6 月 2 日

各 位

会社名 アルゼ株式会社
代表者名 代表執行役社長 徳田 一
(JASDAQ・コード 6425)
問合せ先 財務経理部長 齋藤 昌之
電話 03-5530-3055 (代表)

平成 21 年 3 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成21年2月16日付「平成21年3月期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	21,000	△9,000	△4,000	△6,000	△75 円 06 銭
今回修正 (B)	19,993	△11,605	△13,224	△14,808	△185 円 26 銭
増減額 (B-A)	△1,007	△2,605	△9,224	△8,808	—
増減率	△4.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	72,133	16,088	23,311	38,086	476 円 52 銭

(2) 修正理由

当初は平成21年3月期第4四半期連結会計期間において、2タイトル(シャドーハーツ、スーパーリアル麻雀)の投入で20.1千台の市場導入を計画しておりましたが、市場環境の悪化に伴うホール店舗の減少もあり苦戦を強いられたことから、更に1タイトル(タコスロ)導入したものの十分な売上増には繋がらず、15.5千台にとどまったため、表記のとおり、売上高の業績予想を修正いたします。

営業利益につきましては、新会計基準に則って棚卸資産と仕掛品の評価基準を全体的に見直した結果、棚卸資産と仕掛品について評価損1,372百万円を原価及び販売管理費に組み込まなければならなくなったことから、表記のとおり修正いたします。

経常利益につきましては、当初、当社の持分法適用会社であるウィン・リゾート社の持分法投資利益を営業外収益として1,000百万円見込んでいましたが、昨今の金融環境の悪化によりウィン・リゾート社自体が損失となったことから営業損失として4,928百万円を計上しななければならなくなったことに加え、為替差損が予想時から877百万円悪化したことなどによる営業外費用の大幅増により、表記の

とおり修正いたします。

当期純利益につきましては、ウィン・リゾーツ社が増資を行ったことに伴いみなし売却益として4,275百万円の特別利益を計上したものの、会計基準に則った棚卸資産の評価損を特別損失として4,728百万円計上しなければならなくなったこと、及び、法人税等として1,100百万円見積もっていたものが852百万円減少し248百万円になったことにより、表記のとおり修正いたします。

2. 平成21年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	7,500	△6,500	△5,000	△8,500	△106円33銭
今回修正（B）	9,904	△7,406	△6,168	△10,098	△126円33銭
増減額（B－A）	2,404	△906	△1,168	△1,598	－
増減率	32.1%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	58,903	9,521	9,846	9,350	116円99銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、当社が第4四半期に発売したパチスロ機『タコスロ』の売上増をはじめ、海外ゲーミング機器の売上計上により増加しております。

営業利益につきましては、タコスロの売上増に伴い原価及び販売管理費が増加したことに加え、棚卸資産の評価損94百万円を計上したことなどにより906百万円悪化しました。

経常利益につきましては、為替差損105百万円を計上したことにより、表記のとおり修正いたします。

当期純利益につきましては、棚卸資産の評価損753百万円を計上したことにより表記のとおり修正いたします。

以 上